

国際電気通信連合（ITU）150周年記念賞の受賞者

	受賞者の役職・業績等
	<p>坂村 健（63歳）日本</p> <p>東京大学大学院情報学環教授、YRP ユビキタス・ネットワーク研究所の所長など役職多数。</p> <p>ユビキタスネットワークやIoT（Internet of Things）の起源となったオープンアーキテクチャ TRON を提唱。</p>
	<p>ビル・ゲイツ（60歳）米国</p> <p>マイクロソフト社の共同創業者兼元会長兼顧問、ビル&メリンダ・ゲイツ財団の共同会長など役職多数。</p> <p>パソコンを通じたインターネットへのアクセスの普及に多大な貢献。</p>
	<p>ロバート・E・カーン（76歳）米国</p> <p>CNRI 理事長。AT&T やベル研究所、MIT 電子工学部、国防高等研究計画局等を歴任。</p> <p>アーパネット（インターネットの原型）を提唱し、インターネットの基盤となる TCP/IP を開発。</p>
	<p>トーマス・ウィーガンド（45歳）ドイツ</p> <p>ベルリン技術大学電子工学コンピュータ科学部教授。</p> <p>ITU 電気通信標準化部門や ISO/IEC 等の標準化団体の会議に参画し、MPEG 等の映像データの圧縮方式の標準化に尽力。</p>
	<p>マーク・I・クリボシェフ（82歳）ロシア</p> <p>モスクワ電気通信研究所の博士、ロシア連邦科学技術学会の通信委員等を歴任。</p> <p>高精細のテレビ映像の国際間の交換が可能になるよう標準化に尽力。</p>
	<p>マーティン・クーパー（86歳）米国</p> <p>Dyna LLC の会長や国立エンジニアリング学会のメンバーなど役職多数。</p> <p>モトローラ在職中の1973年に世界初のポータブル携帯電話を開発するなど、無線通信産業のパイオニア。</p>